

◆はる！新緑の棚田で田植えツアー

平成23年度「棚田オーナー募集ツアー」実践事業

世界遺産「白神山地」の麓

秋田県山本郡藤里町横倉

「棚田オーナー」募集

春の田植え体験
参加者募集中
約20名(先着順)

ホタル

ブナ

湧き水

棚田の里で縄文からのメッセージを感じてみませんか

一緒に田植え
しませんか(^_^)

地主の市川さん

◆「棚田オーナー」体験内容

- 春 I はる！新緑の棚田で田植えツアー：6月4日（土）
オリエンテーション、田植え、クレソン採集、棚田周辺里山散策、昔語りなど
お土産：クレソン、山菜など
- 夏 II なつ！ブナと水と蛍の里で棚田ツアー：7月30日（土）～31日（日）
草刈り、田んぼの生き物探し、ブナ林散策、きりたんぼ作り、ナイトハイクなど
お土産：きりたんぼ、山菜、クレソンなど
- 秋 III あき！黄金色の棚田で稲刈りツアー：10月15日（土）～16日（日）
稲刈り・はさ掛け、ブナ林散策、キノコ採り、アユの築、味噌造り、昔語りなど
お土産：味噌、キノコなど

詳細については裏面をご覧ください。

横倉地区「棚田オーナー募集ツアー」 募集要項

◆目的

白神山地の麓、きれいな湧き水の流れる横倉集落で、田んぼや畑での農作業や交流など年3回の体験プログラムへの参加を通じ、地区住民とともに「横倉の棚田」を保全していくサポーター（オーナー）を募集するものです。

※本事業は、横倉集落、白神ぶなっこ教室が中心となり、秋田県、藤里町が連携して実施しています。

◆体験プログラム

日程と内容：体験時間は午前10時～午後4時を予定（春）

- 春 I はる！新緑の棚田で田植えツアー：6月4日（土）
 オリエンテーション、田植え、クレソン採集、棚田周辺里山散策、昔語りなど
 お土産：クレソン、山菜など
- 夏 II なつ！ブナと水と螢の里で棚田ツアー：7月30日（土）～31日（日）
 草刈り、田んぼの生き物探し、ブナ林散策、きりたんぼ作り、ナイトハイクなど
 お土産：きりたんぼ、山菜、クレソンなど
- 秋 III あき！黄金色の棚田で稲刈りツアー：10月15日（土）～16日（日）
 稲刈り・はさ掛け、ブナ林散策、キノコ採り、アユの築、味噌作り、昔語りなど
 お土産：味噌、キノコなど

集合場所

白神ぶなっこ教室（秋田県山本郡藤里町藤琴） 午前9:30
 （詳細な地図等については申込後に送付致します。）

◆料金と募集人数

・年会費と体験プログラムごとに体験料をいただきます。（年会費のみ、体験プログラムのみ参加も可）

オーナー負担金（年会費）：12,000円/組（1組4名まで）

オーナー特典：秋の稲刈り後、棚田で収穫した「横倉棚田米」（減農薬、有機栽培、天日干し）15kgを贈呈

体験プログラム料金：春（日帰り）：大人3,000円 小学生1,500円 未就学児500円

（体験指導料、昼食代、保険料など）

夏、秋（1泊2日）：各大人8,000円 小学生4,000円 未就学児1,000円（予定）

（体験指導料、食事代、保険料など）

宿泊は、廃校を利用した宿泊型自然体験施設「白神ぶなっこ教室」を予定しています。

春に宿泊を希望される方も、宿泊できます（料金別添）。

募集人数：各回大人・子ども約20名（先着順）

申し込み方法：必要事項をご記入の上、電話・FAXまたはEメールでお申し込み下さい。

締め切り：5月27日（金）

申し込み・問い合わせ先：白神ぶなっこ教室

〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字上坊中 86

TEL：0185-79-3130 FAX：0185-79-3021 E-mail：bunakko@nifty.com

東京連絡所 TEL：03-3207-7727 FAX：03-3207-7771（株・海洋工学研究所内）

◆その他

- ・体験プログラムの詳細（スケジュール、持ち物、支払い方法など）は、申込後にお知らせします。
- ・小雨決行ですが、大雨など天候、道路状況などにより日程・内容など変更になることがあります。

◆参加申込書

※個人情報本事業の目的以外には使用しません。

受付番号 ()	代表者氏名	住所 〒	県	市町村
参加者 ()	年齢： 歳	電話：	FAX：	
	性別：	緊急時：(携帯)		
	職業：	E-mail：		
	氏名 (歳)			氏名 (歳)
	氏名 (歳)			氏名 (歳)
御利用交通機関：				

はる！新緑の棚田で田植えツアー



9:30 参加者が続々と到着。

受付をすませて、オリエンテーションが、始まりました。

歓迎の挨拶のあと、自己紹介。全員秋田市など県内からの参加です。

地元企業の社会貢献での参加者も6名。

子供たちも入れての家族連れから、50代～60代のご夫婦まで、多彩な顔ぶれです。

初めての田植えを楽しみにしている参加者も。

10:00 「棚田オーナー募集ツアー」の主旨説明、1日の流れ、注意事項を聞いて、いよいよマイクロバスで横倉に向けて出発。



10:20 横倉に到着。

田んぼを貸してくださる市川博之さんのお宅の前には、きれいな沢が流れています。

子どもたちは、早速手を入れて大喜び。目の前には新緑に彩られた横倉の棚田が広がり、すばらしい眺めです。

10:30 オーナー田の前で市川さんを始め、指導してくださる方々を紹介。

体験指導者の一人田代さんは、あらかじめ耕運機でならした田んぼに、型をおして稲を植える場所の印をつけて行きます。





苗を渡され、みんなで一列に並んで、待ちに待った田植えの始まりです。



「ほーら、苗、いくわよー。」

子どもたちは、泥んこになって大奮闘！



1 時間後、田んぼには小さな苗が並びました。元気で育ってね。

そろそろイワナも焼けたようです。

何が出てくるかな。お昼が楽しみです。

雨がぽつぽつおちてきました。田んぼでの昼食は、無理ですね。残念。



田植えが終わると、市川さんのお家の神棚に御神酒と苗を添えて、家の当主がお参りをする儀式があります。稲が順調に育って、豊作になるよう祈願するのです。今日は、参加者の中で年長の方が代表で一緒にお参りしました。

雨が降ってきたので、市川さんのお家で昼食をとることになりました。天井が高く、広い座敷がいくつもあります。旧家の佇まいです。



種々様々な山菜料理など、すべて地元の食材を使ったものです。横倉の養殖場のイワナは、豪華な塩焼きに。そして、あきたこまちの美味しいおにぎりなどなど。メニューは、下記を参照してください。

◆おにぎり（ゆかりと梅、のりと昆布）、たけのこ汁（たけのこ、ミズ、豚肉など）、イワナ塩焼き、煮卵、鶏の唐揚げ、ぜんまいの煮付け、ワラビのおひたし、クレソン・ミツバ・セリのおひたし、キュウリ・ニンジンの漬け物、ウルイ・ミズの漬け物、デザート（コーヒーゼリー）、麦茶



市川博之さん

昼食後、市川博之さんに横倉の昔のお話をうかがいました。

この雪深い地、棚田を開墾するのは、どんなにか大変だったでしょう。

先陣の知恵のつまったこの棚田、そして横倉の景観を、何とか残したいものです。みなさん、市川さんの人柄に感銘。

13:30 雨の中を横倉から水無にかけて、散策に行きます。

ワサビとクレソンの栽培を手がける市川サツさんの案内で、ワサビハウスの見学とクレソンつみを体験しました。

ワサビもクレソンも耕作をやめた水田跡を利用したものです。どちらもきれいな水を好むので、水のきれいな横倉は栽培に適しています。

太く立派に育ったワサビ。お土産に購入しました。摘んだクレソンもお土産に。



市川サツさん



養殖場の管理をしている漁協の近藤正昭さんの説明で、イワナの養殖場・サケの孵化場を見学しました。川魚は臭みがあるものですが、このイワナは、えさに工夫があるから臭みがなく、おさしみにしてもおいしいです。昼食のイワナの塩焼きのおいしかったこと。3月末には、孵化したサケ・マスの稚魚を、がろうの滝の所で放流します。



本降りの雨の中、水無沼まで歩く予定でしたが、
とうとうマイクロバスで行くことに。

水無沼は、新緑のもやの中にかすんで見えました。
雨の中もまた風情のある何ともいえない幻想的な景色です。

かつて、ここにも集落があつて、人々の暮らしがあり、
最後にはおばあさんが一人で住んでいたなんて、
今では考えられない静けさです。

15:30 横倉をあとにぶなっこ教室へ。

14:00 皆で感想を述べて、解散。



お土産のミズ



田植えのあとで